

TRANSWOOD® with Pralus®製ベンチが 善光寺境内に設置されました。

株式会社hide kasuga 1896（本社：東京都、代表取締役：春日 秀之）が主宰するサーキュラーエコノミーコンソーシアム「Green Composite Hills by hide k 1896®」によるアップサイクルプロジェクトにおいて、長野市立東部中学校の生徒が1年間使用した環境調和型素材TRANSWOOD® with Pralus®製ベンケースが、ベンチにアップサイクルされて善光寺境内（長野県長野市）に設置されることに伴い、2024年11月18日に式典（アップサイクルベンチ奉納式）が行われました。



後列左から：春日 秀之（株式会社 hide kasuga 1896 代表取締役）、清水 雄介氏（善光寺事務局 次長）、坂本 見大氏（三井化学株式会社 執行役員）
前列左から：荻原 健司氏（長野市長）、東部中学校生徒代表 白浜凜さん



TRANSWOOD® with Pralus®製ベンチ



左から：坂本 見大氏、春日 秀之、清水 雄介氏

■ 式典概要

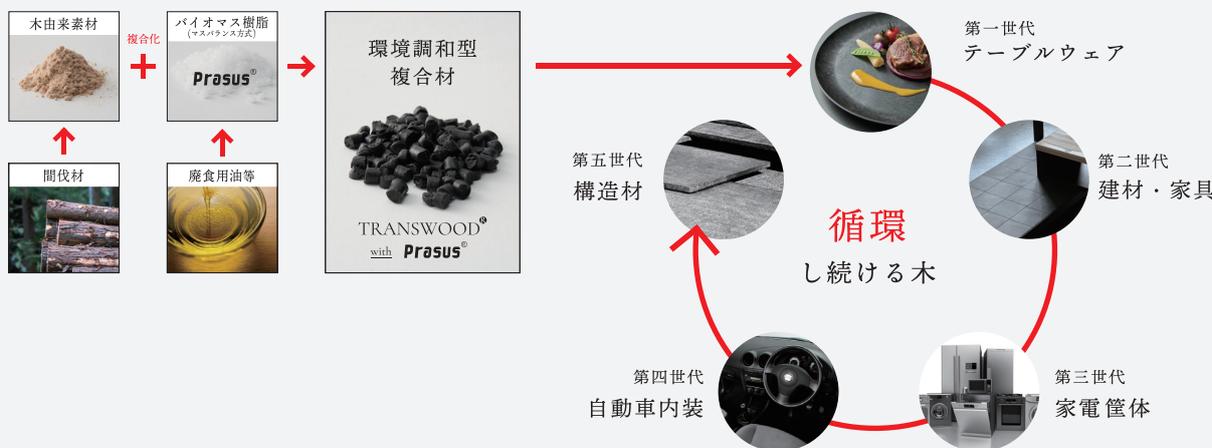
- 1 日程 令和6年11月18日(月)
- 2 場所 善光寺本堂東側お守り販売所周辺
- 3 出席者 春日 秀之 (株式会社 hide kasuga 1896 代表取締役)
清水 雄介 氏 (善光寺事務局 次長)
坂本 晃大 氏 (三井化学株式会社 執行役員)
荻原 健司 氏 (長野市長)
東部中学校生徒代表 ほか
- 4 実証内容 株式会社hide kasuga 1896が主宰する産学官連携型サーキュラーエコノミーコンソーシアム「Green Composite Hills by hide k 1896®」の取組の一環として、東部中学校の生徒が1年間使用した、長野市産の森林間伐材の木粉とバイオマスプラスチックを配合した環境調和型素材「TRANSWOOD® with Prasus®」を用いて製作したベンケース（デザイン：隈研吾氏）を、新たな付加価値を持つ製品に段階的にアップサイクルすることで、循環型社会への意識の醸成を図るものです。なお、ベンチとして善光寺境内に1年間程度設置した後は、アート作品にアップサイクルする計画となっています。

「hide kasuga グループ」は2012年創業以来、サーキュラーエコノミー構築を目指し、研究開発からマーケティングまで一貫通貫で循環型事業運営を行うグループです。当グループは環境調和型ブランド「BLANC BIJOU PARIS®（プロダクト）」「hide k 1896®（プロダクト）」「TRANSWOOD®（素材）」を運営しており循環性の高い素材および最終製品を開発し販売しております。また、産学官連携型CEコンソーシアム「Green Composite Hills by hide k 1896®」を主宰しておりCEの社会実装を各団体と連携し実施しています。

TRANSWOOD[®] with Pralus[®]

100年循環する環境調和型複合材

オールバイオ素材 / リサイクル可能 / 軽い / 割れにくい



プラスチック使用量を
十分の一まで削減可能

トランスウッドは①複合化と②リサイクルを繰り返す事で100%プラ製素材を5回生産する事に対して大幅なプラスチック使用量削減を可能とする。

